社会福祉法人三島市社会福祉協議会 令和2年度事業報告書

近年、少子高齢化や核家族化の急速な進展、独居高齢者や高齢者のみの世帯の増加など地域における社会環境の変化に伴い、福祉や生活に関わる課題は多様化・複雑化し、既存のサービスだけでは対応が難しい状況となっており、その課題解決に向けた取り組みが急がれております。このような中、国では「ニッポンー億総活躍プラン」において、2020年代初頭を目途に「地域共生社会」の全面展開を目指すこととし、その実現に向けて「我が事・丸ごと」をキーワードに、社会福祉法を改正するとともに、地域力の強化、地域住民の地域福祉活動への参加促進、包括的な支援体制づくりなどが進められています。

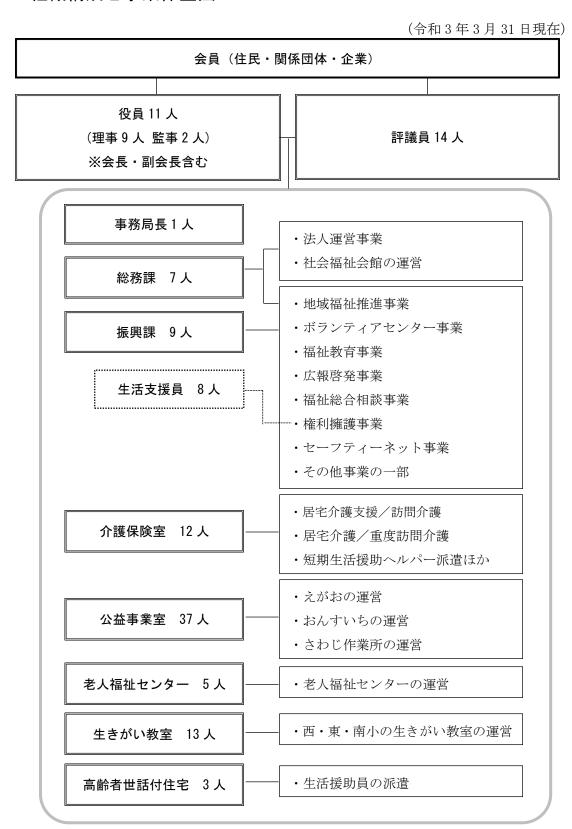
今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として、各種事業・活動が自 粛や縮小となる中、本会においても、いかに地域福祉を留めずに推進していけるのか、新 たな活動の形を模索する機会となりました。そのような中、今年度が最終年度である第3 次三島市地域福祉活動計画に掲げた様々な取り組みを着実に実施するとともに、社協活動 に対する市民の理解を深め、より多くの皆さまにご協力して頂けるように分かりやすい情 報発信に努めてまいりました。また、「地域福祉の推進を図ることを目的」と位置付けら れた社会福祉協議会の「公共性」と、民間組織としての「自主性」という2つの側面を併 せ持つ組織力を活かし、地域住民やボランティア、福祉・保健などの関係者、行政機関な どとの連携により、「市民の誰もが安心して、自分らしく、いきいきと、自立した生活が できる地域社会の実現」を目指し、各種事業に取り組んでまいりました。

以下、各事業の推進状況等について報告いたします。

I 重点項目

1	地域福祉活動計画の推進	該当事業:地域福祉推進事業
2	地域包括ケアシステムの推進	該当事業:地域福祉推進事業
3	権利擁護体制の充実	該当事業:権利擁護事業
4	広報啓発事業の充実	該当事業:広報啓発事業

Ⅱ 組織構成と事業体型図



Ⅲ 実施事業報告

1 法人運営事業

(1) 組織運営のための会議等の開催

本会の定款に基づき、法人運営に必要な「理事会」、「評議員会」、「監事監査」を開催しました。

①理事会の開催状況

開催日	議題等
令和2年 6月9日(火)	 ・令和元年度三島市社会福祉協議会事業報告について ・令和元年度三島市社会福祉協議会資金収支決算認定について ・三島市社会福祉協議会評議員会に提案する理事候補者について ・三島市社会福祉協議会評議員選定委員会に提案する評議員選任候補者の推薦及び評議員選定委員会の開催について ・定時評議員会の招集について
令和2年 9月10日(木)	・令和2年度三島市社会福祉協議会資金収支補正予算(案)について ・令和2年度三島市社会福祉協議会社会福祉大会における三島市社 会福祉協議会会長表彰について ・評議員会の招集について
令和2年 12月9日(水)	・社会福祉法人三島市社会福祉協議会指定就労継続支援(B型)事業 所さわじ作業所運営規程の一部を改正する規程案について ・令和2年度三島市社会福祉協議会資金収支補正予算(案)について ・評議員会の招集について
令和3年 3月17日(水)	・社会福祉法人三島市社会福祉協議会就業規程の一部を改正する規程(案)について ・社会福祉法人三島市社会福祉協議会職員の育児・介護休業等に関する規程の一部を改正する規程(案)について ・三島市社会福祉協議会評議員会に提案する社会福祉法人三島市社会福祉協議会役員等の報酬等に関する規程の一部を改正する規程(案)について ・令和2年度三島市社会福祉協議会資金収支補正予算(案)について ・令和3年度三島市社会福祉協議会事業計画(案)について ・令和3年度三島市社会福祉協議会資金収支予算(案)について ・部議員会の招集について ・事務局職員の昇格について

令和3年	・三島市老人福祉センター館長の解任及び選任について
3月19日(金)	
(書面による議決)	

②評議員会の開催状況

開催日	議題等
	・令和元年度三島市社会福祉協議会事業報告について
令和2年	・令和元年度三島市社会福祉協議会資金収支決算認定について
6月25日(木)	・三島市社会福祉協議会理事の選任について
令和2年	・令和2年度三島市社会福祉協議会資金収支補正予算(案)について
9月23日(水)	
令和2年	・令和2年度三島市社会福祉協議会資金収支補正予算(案)について
12月17日(木)	
	・社会福祉法人三島市社会福祉協議会役員等の報酬等に関する規程
AT- 0 F	の一部を改正する規程(案)について
令和3年	・令和2年度三島市社会福祉協議会資金収支補正予算(案)について
3月26日(金)	・令和3年度三島市社会福祉協議会事業計画(案)について
	・令和3年度三島市社会福祉協議会資金収支予算(案)について

③監事監査の開催状況

開催日	議題等	
令和2年	令和元年度事業及び決算の監査	
5月26日(火)	71411111111111111111111111111111111111	
令和2年	令和2年度中間監査	
11月6日(金)	7442 千茂 中间 血 直	

④その他会議の開催状況

開催日	会議名・議題		
令和2年	評議員選定委員会		
6月16日(火)	・三島市社会福祉協議会評議員の選任について		
令和2年	正・副会長会議		
9月2日(水)	・令和2年度三島市社会福祉協議会社会福祉大会における三島市社		
9月2日(水)	会福祉協議会会長表彰の被表彰者の選考について		

(2) 会費の状況

ロハ ロハ	当年度		前年度		
区分	件数	金額	件数	金額	
住民会費	40,077件	6, 990, 600 円	40,691件	6, 863, 526 円	
(1 世帯 200 円)	40,077	0, 990, 000 1	40,031	0,000,020円	
団体会費	48 件	112,000 円	49 件	112,000 円	
(1 口 1,000 円以上)	40 17	112,000]	43 🕇	112,000 1	
賛助会費	176 件	333,000 円	199 件	341,000 円	
(1 口 1,000 円以上)	170 17	333, 000 []	199 🕂	341,000]	
合計	40,301件	7, 435, 600 円	40,939件	7, 316, 526 円	

(3) 寄附金の状況

区分		当年度		前年度	
		件数	金額	件数	金額
	法人運営拠点区分	16 件	633, 715 円	25 件	637, 369 円
一般宏	えがお拠点区分	4件	40, 215 円	6件	158, 200 円
般寄附金	さわじ作業所拠点区分	8 件	290, 300 円	9件	604,000 円
	おんすいち拠点区分	3 件	50,000円	7件	167,000 円
合計		31 件	1,014,230円	47 件	1, 566, 569 円

(4) 社会福祉振興基金及び社会福祉整備積立金等の状況

退職給与積立金は1名の退職に伴い3,977,700円を取り崩し、年度末必要額まで9,753,270円を積み立て81,497,310円となり、積立金等累計額は790,035,742円となりました。

基金等種類	治年度士徒之人	本年度積立金(上段)	積立金累計額	
左 並守性類	前年度末積立金	本年度取崩額(下段)		
社会福祉	542, 843, 383 円	0 円	E49 949 999 III	
振興基金	042, 643, 363 円	0 円	542, 843, 383 円	
社会福祉	126 106 712 ⊞	0 円	126 106 712 III	
整備積立金	136, 196, 713 円	0円	136, 196, 713 円	

退職給与	75 791 740 ⊞	9, 753, 270 円	91 407 910 III	
積立金	75, 721, 740 円	3, 977, 700 円	81, 497, 310 円	
資金運用	97 149 226 III	0 円	97 149 226 ⊞	
積立金	27, 148, 336 円	0 円	27, 148, 336 円	
施設整備	500, 000 III	0 円	500, 000 III	
積立金	500,000 円	0 円	500,000 円	
車輌購入等	1,850,000円	0 円	1,850,000円	
積立金	1, 850, 000 🗇	0 円	1, 850, 000 🗇	
合計	784, 260, 172 円	9, 753, 270 円	790, 035, 742 円	
口目	104, 200, 172 円	3, 977, 700 円	790, 030, 742 円	

2 地域福祉推進事業

(1) 地域福祉活動計画の策定

「地域福祉活動計画」とは、市町行政が策定した 「地域福祉計画」と連携し、住民及び福祉関係団体 や事業者などが地域福祉の推進に主体的にかかわ るために、市町社協が中心となって策定する具体 的な活動計画です。

三島市社協では、平成28年3月に「第3次三島市地域福祉計画」を策定し、「ふれあい、支え合い、思いやりを実践するまち」を基本理念に、地域福祉を推進すべく多様な事業を行ってきました。策定から5年が経過し、福祉を取り巻く環境が大きく変化する中、時代の要請に応じた地域福祉の取組を進めるために、これまでに取り組んできた内容を見直し、令和3年4月から令和8年3月までの5ヶ年を計画期間とする「第4次三島市地域福祉活動計画」を令和3年3月に策定しました。



(2) 小地域福祉活動リーダー・福祉の担い手等の養成

住民が主体となって地域福祉活動を進めていけるよう、地域における福祉の担い 手養成に取り組みました。

①ノルディックウォークでいきいきボランティア講座

開催場所:三島市社会福祉会館

開催日	内容	参加者
令和3年2月24日(水)	地域の現状、ボランティア活動について	16名

令和3年3月3日(水)	運動、ノルディックウォークの基礎	16名
令和3年3月10日(水)	ノルディックウォークの実技	15名





(3) 生活支援コーディネーター業務

日常生活において、支援を必要とする高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続できるよう、第2層生活支援コーディネーターとして高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備に取り組みました。

①三島市及び第1層生活支援コーディネーターとの打合せ会

開催日	場所
令和2年4月16日(木)	三島市社会福祉会館
令和2年5月14日(木)	三島市社会福祉会館
令和2年6月8日(月)	三島市社会福祉会館
令和2年7月7日(火)	三島市社会福祉会館
令和2年8月4日(火)	三島市社会福祉会館
令和2年9月8日(火)	三島市社会福祉会館
令和2年10月8日(木)	三島市社会福祉会館
令和2年11月9日(月)	三島市社会福祉会館
令和2年12月8日(火)	三島市社会福祉会館
令和3年1月8日(金)	三島市社会福祉会館
令和3年2月9日(火)	三島市社会福祉会館
令和3年3月8日(月)	三島市社会福祉会館

②各関係会議参加による地域の福祉課題と社会資源の把握

ア. 介護予防・生活支援体制整備推進協議会に参加

開催日	場所
令和2年6月29日(月)	三島市役所
令和3年3月9日(火)	三島市役所

イ. 自立支援サポート会議に参加

日付	場所
令和2年4月20日(月)	三島市役所
令和2年5月18日(月)	三島市役所
令和2年6月17日(水)	三島市役所
令和2年7月15日(水)	三島市役所
令和2年8月19日(水)	三島市役所
令和2年9月16日(水)	三島市役所
令和2年10月20日(火)	三島市役所
令和2年11月19日(木)	三島市役所
令和2年12月16日(水)	三島市役所
令和3年1月20日(水)	三島市役所
令和3年2月17日(水)	三島市役所
令和3年3月18日(木)	三島市役所

③その他生活支援コーディネーター業務に関し、必要と思われる業務

ア. 広報物「手作りマスク」チラシの作成

新型コロナウイルスの影響により外出の自粛が続く中、高齢者が生きがいをもって生活できるきっかけとなるように、手作りマスクの作り方について説明したチラシを作成し、社協だより(5/1号)に挟み込み、全戸配布しました。

イ. Let's enjoy おうちじかん 集まれなくてもつながれる あなたに届け!作品募集の実施 新型コロナウイルスによる新しい生活様式の中、人とのつながりを保つことが できるように、令和2年10月1日から同年11月30日の間、市内の概ね60歳以上の方を対象に、「ぬり絵」や「はめ字文」等の作品を募集し、同じ題材を用いることでの共感や、作品に込められた思いと作品に対する感想を交換するなど、直接集まれなくても作品を通してつながることのできる方法として実施しました。また、JA三島函南の協力を得て、箱根西麓三島野菜を応募者の一部へ参加賞として贈呈する式典を令和2年12月16日(水)に開催しました。

応募数	箱根西麓三島野菜の贈呈
98 作品	47 名





(4) 居場所・サロンの支援

地域における互助の振興を目的に、住民主体による居場所・サロン活動の立ち上げ・運営継続のための支援に取り組みました。

①居場所・サロン等の登録状況

ア. 居場所・サロン

No.	名称		地区
1	井戸端会議	北上	光ヶ丘
2	木曜サロン	北上	徳倉
3	歩歩笑サロン	北上	光ヶ丘
4	ほっとカフェ	北上	富士ビレッジ
5	介護予防カトレア体操	北上	芙蓉台
6	芙蓉台自治会居場所	北上	芙蓉台
7	たまりばかど	北上	富士ビレッジ
8	コミュニティースペース・ジモット	北上	徳倉
9	居場所 101	北上	光ヶ丘
10	ちょっくらカフェ	旧市内	西本町
11	シャルマンカフェ	旧市内	加茂川町
12	サロン大宮	旧市内	大宮町
13	さくらサロン	旧市内	加茂
14	南二日町サロン	旧市内	南二日町
15	コミュニティカフェ悠遊	旧市内	若松町
16	ひなたぼっこの会	旧市内	大社町
17	にこにこ会	旧市内	南田町
18	加茂喜楽会	旧市内	加茂
19	交流喫茶なみき	錦田	並木
20	Welcome サロン三恵台	錦田	三恵台
21	すずめ会	錦田	谷田
22	旭ヶ丘なかよし体操	錦田	旭ヶ丘
23	旭ヶ丘カフェ	錦田	旭ヶ丘
24	初音台夏すみれ	錦田	初音台
25	玉沢健康体操"弥生"	錦田	玉沢
26	錦田元気体操「喜楽会」	錦田	谷田
27	すこやかサロン	錦田	小山押切
28	ひだまりの会	錦田	中
29	中・福祉会健幸サロン	錦田	中
30	さんすい	錦田	城の内

31	コミュニティカフェ安久	中郷	安久
32	シェアカフェ・クリチバ	中郷	藤代町
33	東大場図書カフェ	中郷	東大場
34	山のサロン	中郷	パサディナ
35	新谷コミュニティカフェ"花笑み"	中郷	新谷
36	サロン松本	中郷	松本
37	多呂サロン	中郷	多呂
38	ラジヨガ 7	旧市内·北上·中郷	南本町・光ヶ丘・パサディナ

イ. 認知症カフェ

No.	名称	地区	
1	オレンジほっとカフェきたうえ	北上	萩
2	おれんじほっとサロン	旧市内	中央町
3	すまいるカフェ◎錦田	錦田	谷田藤久保
4	ふらっとうめな	中郷	梅名
5	和カフェしゃぎり庵	旧市内	芝本町

ウ. 地域 (子ども) 食堂・学習支援

No.	名称	地区	
1	日の出食堂	旧市内	日の出町
2	三島子育て学習サポート寺子屋	錦田	谷田
3	みんなのえがおおたまちゃん食堂	旧市内·錦田	中央町・谷田

②居場所・サロン連絡会

居場所・サロンの連携、情報交換、共有等を図るため連絡会を開催しました。

開催日	内容	参加者
令和2年	コロナ過における各居場所・サロンの状況について	31 団体
10月14日(水)	開催場所:三島市社会福祉会館	31名
令和3年3月	アンケート調査による情報交換	_





③身近な地域の居場所づくり助成事業

居場所の開設・運営に必要な経費を年間開所日数に応じて助成。また、世代間交流を行う団体に対して助成金を1万円加算するほか、新型コロナウイルスの状況等を鑑みて、「集まらなくてもつながる仕組みづくり」(電話訪問、お便りの送付など)を行う団体に対して助成金を2万円加算する内容を追加しました。

名称	年間開所 日数	世代間 交流	つながる 仕組み	助成額
三島市子育てサポート寺子屋	60	0	_	40,000 円
加茂喜楽会	12	_	0	30,000 円
さくらサロン	44	_	_	25,000 円
シャルマンカフェ	18	_	_	15,000 円
初音台夏すみれ	24	_	_	15,000 円
サロン大宮	12	0	0	40,000 円
ひなたぼっこの会	24	_	0	35,000 円
新谷コミュニティカフェ花笑み	110	0	_	40,000 円
芙蓉台自治会	12	0	0	40,000 円
すこやかサロン	16	0	0	40,000 円
中福祉会健幸サロン	30	_	_	20,000 円
歩歩笑サロン	8	0	0	40,000 円
シャルマンカフェ・クリチバ	12	0	_	20,000 円
ちょっくらカフェ	48	_	_	25,000 円
合計 14 団体				425,000 円





▲「サロン大宮」によるつながる仕組みづくり(見守り弁当の配布)

(5) 芙蓉台地区モデル事業住民参加型在宅福祉サービスおたがいさまサービス事業

福祉制度では対応できない生活課題を住民主体で解決できるように、サービスを 利用する方も提供する方も住民の、"住民参加型在宅福祉サービス"のモデル地区を 芙蓉台に選定して平成29年10月1日より実施しています。4年目を迎えた今年度、 自治会主体となって実施できるように支援し、令和2年12月末をもって、サービスの実施主体を自治会へ移行しました。

登録状況・活動実績(令和2年12月末時点)

利用会員	協力会員	活動件数	内容
21 名	9名	83件(2,490分)	買い物・通院時の付き添いほか

(6) 光ヶ丘県営住宅空き住居を利用した居場所事業

高齢化率が高い光ヶ丘地区において、住民の主体的な福祉活動を促進するために 光ヶ丘県営住宅空き住居を利用した居場所の運営を支援しました。平成30年4月 より実施してきた本事業ですが、令和3年3月末をもって、居場所の運営主体を光 ヶ丘県営住宅自治会へ移行しました。

活動日	場所	利用者
毎週水曜日 10:00~11:00	 光ヶ丘県営住宅 9 棟 101 号室	なべ 409 夕
※年間活動日数38日	九ケユ県呂住七9陳 101 安皇 	延べ 402 名



(7) 地域支え合い会議(勉強会)の開催

地域住民と共に、地域の困りごとや課題を共有し、解決に向けた取り組みを考えていく標記勉強会を市内4地区で開催しました。

地区	日付	場所	参加者
旧市内	令和2年9月16日(水)	三島市社会福祉会館	25 名
	令和2年12月11日(金)	三島市社会福祉会館	22名
	令和3年3月19日(金)	三島市社会福祉会館	17名
北上	令和2年9月29日(火)	北上文化プラザ	7名
	令和2年12月18日(金)	北上文化プラザ	6名
	令和3年3月16日(火)	北上文化プラザ	6名
錦田	令和2年9月18日(金)	錦田公民館	23 名
	令和2年12月8日(火)	錦田公民館	18名
	令和3年3月10日(水)	錦田公民館	16名

中郷	令和2年9月24日(木)	中郷文化プラザ	11名
	令和2年12月10日(木)	中郷文化プラザ	7名
	令和3年3月11日(木)	中郷文化プラザ	7名





(8) 生活課題解決モデルの研究・開発

地域支え合い会議で話し合われた意見を基に、移動・外出手段の確保が困難で日常生活の買い物に不便を感じている高齢者が、健康的で生き生きと暮らし続けることができるように、インフォーマルサービスの創出に向けた取り組みとして、介護サービス事業所と連携して実施する買い物支援モデル事業について、モデル地区に選定した錦が丘自治会はじめ、行政や関係機関と話し合いを重ねるなど、令和3年度の実施に向け準備を行いました。

(9) 法人間連携推進会の開催

福祉課題等に対応した地域の福祉サービスの一層の充実が図られるよう、複数法人が参画するネットワークを構築し、当該参画法人が持つそれぞれの強みを活かすことを通じて、福祉課題等の解決に向けた協働による取組を推進する会議を開催しました。※高齢者福祉サービス事業を行う25法人へ依頼

開催日	内容	参加
令和3年	連携・協働の意義について	1.C V+ 1
2月1日(月)	開催場所:三島市社会福祉会館	16 法人
令和3年	御殿場市における法人間連携の事例	10 V± 1
3月9日 (火)	開催場所:三島市社会福祉会館	12 法人

(10) その他、地域福祉推進に向けた取り組み

①地域ケア会議等への参加

開催日	主催	会議テーマ
令和2年	北地区地域包括	羽加宁宣松老の女は笠田
7月10日(金)	支援センター	認知症高齢者の金銭管理
令和2年	北上地区地域包	加見宣松老も地域ですらて
7月27日(月)	括支援センター	独居高齢者を地域で支える

令和2年	北地区地域包括		
8月14日(金)	支援センター	母親の施設入所と子の医療保護入院	
令和2年	北上地区地域包	経済的に困窮している高齢者夫婦の支援	
8月27日(木)	括支援センター	について	
令和2年	北地区地域包括	子が浪費癖のある金銭管理と介護サービ	
9月18日(金)	支援センター	ス利用について	
令和2年	北地区地域包括	高齢者の母親と精神障害・知的障害のある	
9月30日(水)	支援センター	息子の支援について	
令和2年	北上地区地域包	か兄真松老た地は でまるで	
10月26日(月)	括支援センター	独居高齢者を地域で支える 	
令和2年	北地区地域包括	子が浪費癖のある金銭管理と介護サービ	
11月4日(水)	支援センター	ス利用について	
令和2年	中郷地区地域包	必要と思われる支援を拒否し、自立した生活が	
12月18日(金)	括支援センター	困難になってしまった方との関わり方を考える	
令和3年	中郷地区地域包	ペットを生きがいにしている高齢者が、世話が難しくなっ	
2月17日(水)	括支援センター	ても安心して生活できるよう地域と共に考える	
令和3年	海会业	徳倉共生社会の取組みについて、徳倉地区	
3月19日(金)	徳倉共生社会	の課題把握について	
令和3年	北地区地域包括	高齢者の母親と精神・知的障害のある娘と	
3月31日(水)	支援センター	息子の支援について	

②講師派遣

地域福祉の振興・向上に資するため本会職員を講師として派遣しました。

	1	
開催日	対象	内容
令和2年	認知症サポーターステッ	コミュニケーションの実際と認
7月15日(水)	プアップ講座修了者10名	知症の方への対応について
令和2年	御殿場市・小山町市民後	市民後見概論
10月1日(木)	見人養成講座 25名	
令和2年	3 市 1 町市民後見人養成	市民後見概論
10月14日(水)	研修 受講者 20 名	
令和2年	3 市 1 町市民後見人養成	対人援助の基礎
10月14日(水)	研修 受講者 20 名	
令和3年	中郷地区 介護支援専門	成年後見制度の活用
1月21日(木)	員 9名	
令和3年	認知症サポーターステッ	①コロナ禍における認知症の方の実際
2月2日 (火)	プアップ講座修了者10名	②話を聴くためのコミュニケーション方法

3 ボランティアセンター事業

(1) ボランティア登録

効果的な情報発信とボランティアコーディネート等に活用するため、ボランティア登録の受付を行いました。 (令和3年3月31日現在)

	内訳	登録数
	高齢者に関わる活動	17 件
	障害者等に関わる活動	9件
	児童・子育でに関わる活動	17 件
	災害時に関わる活動	6 件
グループ	環境に関わる活動	16 件
	趣味・特技・資格等を活かした活動	11 件
	その他の活動	14 件
	計	90 件
個 人	傾聴、読み聞かせ、マジック、被災地支援ほか	126 名

(2) ボランティアコーディネート

ボランティアに関する様々な相談に応じるほか、ボランティア登録の受付、活動 先の斡旋・調整などを行いました。

主なコーディネート内容

- ・市内視覚障がい者を対象とした広報みし ま等の点訳・音訳
- 選挙開票時の点字判読者派遣
- 録音図書作成時の日本文藝家協会への著作物使用許諾申請
- ・福祉施設等イベント時のボランティア募 集・派遣
- ・ボランティア活動希望者への活動先斡旋
- ・社会貢献活動に取り組む企業の発掘・支援
- ・福祉関係団体が行う活動の周知・協力・呼びかけ ほか



▲フードバンクふじのくに主催の フードドライブ(食糧寄附活動) 協力の呼びかけ

(3) 三島市ボランティア連絡協議会の事務局運営

ボランティア活動の推進や会員相互の交流・連携を深めることに賛同したグループと個人会員から構成される154名の組織の事務局を担い、他市町で活動するボランティアとの交流、フードドライブの活動等の手伝い等を行いました。研修会につ

いては新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、会員全体ではなく各グループや会員で実施しました。また、年間の活動費として助成金150,000円を交付しました。

(4) 将棋ボランティア「一七の会」の事務局運営

地域で生活している高齢者等と将棋の対戦相手をするボランティアとして平成 27年11月17日に立ち上げ、以降、当会で事務局を担い活動調整を行っています。 また、従来の活動のほかに世代間交流を含めた将棋教室を開催しています。

新型コロナウイルスの拡大防止のため、活動は自粛しましたが、会員へ近況についてや今後の活動について確認を行いました。

(5) 折り紙ボランティア「おりひめ」の事務局運営

令和元年 11 月 1 日に折り紙を通じたボランティア活動グループとして発足し、月 1 回メンバーで集まり、折り紙をしながら楽しく交流を行い、その活動内容の検討や日程調整を行っています。また、「おりひめ隊」として、居場所やサロンへ出向き、折り紙を通して地域住民と交流を図るなど、地域福祉の担い手として活動をしています。

活動日	内容	場所	参加者
令和2年7月17日(金)	蓮	三島市社会福祉会館	19名
令和2年8月21日(金)	ひまわり	三島市社会福祉会館	21名
令和2年9月18日(金)	菊	三島市社会福祉会館	26 名
令和2年10月16日(金)	秋のリース	三島市社会福祉会館	27名
令和2年11月20日(金)	サンタクロース	三島市社会福祉会館	25 名
令和2年12月18日(金)	干支 (牛)	三島市社会福祉会館	21名
令和3年1月15日(金)	キャンディボックス	三島市社会福祉会館	16名
令和3年2月19日(金)	キャンディボックス	三島市社会福祉会館	21名
令和3年3月19日(金)	チューリップのリー	三島市社会福祉会館	25 名
	ス		
古内民担託。のゼランティア派専同教		中公民館(中健幸サ	派遣回
市内居場所へのボランティア派遣回数		ロン)	数4回





(6) ボランティア活動保険等窓口業務の実施

ボランティア活動中の事故によるケガや賠償責任を保障する保険の加入手続き 等に関する窓口業務を行いました。

保険種類	内容	加入数	保険料総額
ボランティア 活動保険	ボランティア活動中の事故による ケガや賠償責任を補償	922 名	354, 800 円
ボランティア 行事用保険	地域福祉活動等の行事における主 催者や参加者のケガ等を補償	161 行事	129, 892 円
福祉サービス総合補償	在宅・地域福祉サービス中の活動 従事者のケガや団体・グループの 賠償責任を補償	6 団体	174, 206 円
送迎サービス 補償	移送・送迎サービス中の交通事故 などによる利用者のケガを補償	2 団体	4,080円

[※]上記加入者への事故対応1件

(7) ボランティアグループ等事業費補助

住民主体による福祉活動の支援及び地域福祉向上に資する為、ボランティアグループが実施する公益的な活動や児童青少年健全育成に取り組む団体が実施する事業について、経費の一部を補助しました。

①ボランティアグループ事業費補助

グループ名	事業名	補助額
人知笑ねっとワーキングの会	ハーモニカ伴奏による歌声喫茶慰 問、コロナ対応備品他	70,000円
介護予防カトレア体操	介護予防運動教室	33,000円
音訳サークル「アイ・あい」	視覚障がい者への情報提供	46,000 円
災害ボランティアコーディネーター三島	新型コロナ等の感染症に備えての災害ボランテ ィアコーディネーターの能力強化事業	69,000円
点字サークルすぎなの会	視覚障がい者への情報提供	37,000円
要約筆記サークル「OHP みしま」 聞こえにくいことの不便さを知って もらう冊子作成		43,000円
合計 6 団体		298,000円



▲点字サークルすぎなの会(視覚障がい者への情報提供)

②児童青少年健全育成団体事業費補助

グループ名	事業名	補助額
ボーイスカウト三島地区	児童青少年の健全育成	60,000円
ガールスカウト三島地区連絡協議会	1日スカウト体験	22,000円
合計 2 [団体	82,000円

(8) 災害ボランティアの振興

「三島市地域防災計画」において、災害時には市と社会福祉協議会が連携して、 災害時のボランティア受付、活動場所の斡旋及び配置調整等を行う災害ボランティ アセンターを設置することになっています。

ボランティアの受入れや活動先の調整など、災害ボランティア活動の中核的な役割を担う「災害ボランティアコーディネーター三島」の皆さんともに、災害ボランティアセンターの円滑な運営と的確な被災者支援を図るため、年間で9回の定例会を開催しました。

4 福祉教育事業

(1) 福祉教育プログラムの実施

地域で生活している障がいのある方や福祉関係のボランティア活動者で構成する講師連絡会を設置し、学校等からの依頼に基づき、福祉教育プログラムを実施しました。

①講師連絡会構成員

選出区分	氏名	備考
視覚障がい者(盲導犬ユーザー)	杉山典行	
聴覚障がい者 (手話講師)	中川みゆき	
身体障がい者(車椅子ユーザー)	清野一博	

当事者家族	清野佳代子	
ボランティア活動者 (点字)	高橋洋子	すぎなの会
ボランティア活動者 (要約筆記)	西井菜穂子	OHP みしま

②福祉教育プログラムの実施状況

実施日	内容	対象
令和2年	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	中郷小学校
7月16日(木)	体験学習(高齢者疑似体験)	4 年生 74 名
令和2年	高齢者についての講義	中郷小学校
7月30日(木)	同即年にプリ・トロン語義	4 年生 74 名
令和2年	当事者講師による講話(聴覚障がい・手話)	沢地小学校
8月27日(木)	当ず有時間による時的(応見障が・・・・ 子的)	5 年生 44 名
令和2年	当事者講師による講話(身体障がい・車い	沢地小学校
9月1日(火)	すでの生活)	5 年生 44 名
令和2年	当事者講師による講話(視覚障がい・盲導	沢地小学校
9月3日(木)	犬)	5 年生 44 名
令和2年	 ボランティア活動参加の意義についての講	静岡中央高校東
10月15日(木)	ボノンテイテ伯勤参加の息我に ラバ・Cの時 義	部キャンパス
10 /7 13 [1 (/k)	·	40 名
令和2年	 ボランティア活動参加の意義についての講	静岡中央高校東
10月18日(日)	義	部キャンパス
10 /1 10 H (H)	77	40 名
令和2年	 体験学習(白杖・アイマスク)	中郷小学校
10月23日(金)		4 年生 74 名
令和2年	 体験学習(手話)	中郷小学校
10月27日(火)	下水丁目 (1 III)	4年生74名
令和2年	 体験学習(車いす体験)	中郷小学校
10月29日(木)	体歌于自(中、V・9 体歌)	4年生74名
令和2年	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	中郷小学校
11月6日(金)	当事者講師による講話(聴覚障がい)	4 年生 74 名
令和2年	体 整学羽(与今)	沢地小学校
11月10日(火)	体験学習(点字)	5 年生 44 名
令和2年	仕殿学園(白井・マノーッカ)	沢地小学校
11月12日(木)	体験学習(白杖・アイマスク)	5 年生 44 名

令和2年	当事者講師による講話(身体障がい・車い	中郷小学校
11月17日(火)	すでの生活)	4年生74名
令和2年	当事者講師による講話(視覚障がい・盲導	中郷小学校
11月19日(木)	犬)	4 年生 74 名
令和2年	体験学習(車いす)	沢地小学校
11月26日(木)		5 年生 44 名
令和2年	 体験学習(高齢者疑似体験)	沢地小学校
11月30日(月)		5 年生 44 名





(2) バリアフリー教室の開催

国土交通省静岡運輸支局、三島市、本会の共催で、三島市移動等円滑化構想の基本方針の一つである「こころのバリアフリー」を推進するため、標記教室を開催しました。

開催日	内容	対象
令和2年 10月28日(水)	障がい者講話、アイマスク着用による視覚障がい の体験、車椅子体験、心のバリアフリー体験、低床 バス乗降体験	南小学校 4 年生 90 名

(3) 視聴覚教材 (DVD) の整備

より多くの市民に福祉への関心や理解を深めて頂けるよう、福祉的要素を含んだ映画作品の上映会を例年開催していましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止しました。これに伴い、各種団体等で気軽に福祉映画を視聴して頂けるよう貸出用の視聴覚教材(DVD)を整備しました。



5 広報啓発事業

(1) 社協だより「はつらつ」の発行

社協事業の紹介をはじめ、各種福祉サービスや福祉情報を住民に周知するため、 社協広報紙「はつらつ」を年5回発行しました。

発行No.	発行日
105 号	令和2年5月1日
106 号	令和2年7月1日
107 号	令和2年10月1日
108 号	令和2年12月1日
109 号	令和3年2月1日



(2) ホームページの運営

本会の事業活動、各種福祉サービス・情報等を広く紹介すると共に、本会への理解をより深めて頂けるように努めました。

(3) 社会福祉大会の開催

社会福祉の発展に寄与された方々を表彰し、感謝の意を表すとともに、福祉意識 の高揚を図りました。

開催日 会場		会場	内容
	令和2年 11月10日(火)	三島市民生涯 学習センター	表彰式 三島市社会福祉協議会会長表彰 28 名

(4) 児童福祉週間、老人の日・老人週間の啓発及び障がい者週間の啓発協力

児童・高齢者福祉の理念の普及・啓発の為、市内各所にポスターを掲示ほか、啓発用ボールペンを作成・配布しました。また、三島市が実施する障がい者週間に合わせて、市内各所にのぼり旗を設置しました。



6 福祉総合相談事業

(1) 相談事業の実施状況

住民の暮らしの中のあらゆる相談に応じるとともに、関係機関との連携や福祉サービスにつなげるなど、適切な援助や助言を行い課題解決に向けた取り組みを行う

ことを目的に本事業を実施しました。

区分	件数	区分	件数	
生計	1,020 件	財産	3 件	
年金	2件	事故	0 件	
職業・生業	11 件	児童	10 件	
住宅	2件	教育・青少年	11 件	
家族	3件	障がい者	198 件	
結婚・離婚	1件	母子・父子	31 件	
ボランティア	34 件	高齢者	940 件	
健康・衛生	2件	苦情	2件	
医療	17件	日常生活自立支援事業	99 件	
精神保健	94 件	成年後見制度	1,009件	
人権・法律	9件	その他	33 件	
	合計 3,531 件			

7 権利擁護事業

(1) 日常生活自立支援事業

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等のうち判断能力が不十分な方が、 地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき福祉サービスの 利用援助等を行いました。

①相談・援助実績

初回相談	相談援助	合計
17 件	1,026 件	1,043件

【主な相談援助内容】

- ・福祉サービスの利用等に関する情報提供、相談、利用手続き、支払い
- ・年金、福祉手当の受領に必要な手続き、預貯金の出し入れに関する援助
- ・大切な書類や印鑑等の保管ほか

②契約件数等の内訳

区分	新規申請	決定	却下	解約	契約件数
認知症高齢者	7件	7件	0件	1件	12 件
知的障がい者	1件	1件	0件	1 件	8件
精神障がい者	0件	0件	0件	0 件	5件
その他	0 件	0件	0 件	0 件	0件
合計	8件	8件	0件	2 件	25 件

- ・解約理由は、成年後見移行1件、本人申出1件
- ・契約件数は、令和3年3月31日現在

③生活支援員の配置

各利用者の契約内容や支援計画に基づいた支援が円滑にできるように、専門員の ほかに生活支援員を8名配置し、支援を行いました。

(2) 法人後見事業

法人後見事業では、法人として成年後見人等を受任し、認知症、知的障がい、精神障がいなどによって判断能力が十分でない方が不利益を被らないように、財産管理及び身上監護に関する契約などの法律行為全般を行うとともに、専門職で構成された成年後見運営委員会を設置し、本会の後見業務の指導、適切な後見業務を担保するための会議等を開催しました。

また、平成30年度市民後見人養成研修修了者のうち、5名が市民後見人として名 簿登録され、そのうちの1人が市民後見人として選任されました。当法人が後見監 督人として活動を行っています。

①法人後見受任状況

後見類型	新規	終了	受任件数
後見	0 件	3 件	4件
保佐	0 件	1 件	7件
補助	0 件	0 件	0 件
後見監督人	1 件	0 件	1 件
合計	1 件	4 件	12 件

②成年後見運営委員会構成員

選出区分	氏名	所属	備考
法律関係者	原島年央	静岡県弁護士会	委員長
医療関係者	田内美津子	三島市医師会	副委員長
学識経験者	細谷孝一	三島市地域包括支援センター	
法律関係者	井上尚人	成年後見センターリーガルサポート静岡支部	
福祉関係者	岩田正徳	静岡県社会福祉士会	
行政関係者	堀井大樹	三島市障がい福祉課	
その他	塩川健太	三島市障がいとくらしを支える協議会	

③成年後見運営委員会の開催状況

開催日	主な内容
令和2年8月11日(火)	後見監督人についての準備
节和2年0月11日(火)	マニュアル作成
△±10 / 10 / 10 / (Ja)	令和2年度3市1町市民後見人養成研修について
令和2年10月13日(火)	成年後見監督人について
△和 0 左 10 日 0 日 (小)	令和2年度3市1町市民後見人養成研修について
令和2年12月8日(火)	法人後見受任ケースの辞任及び後見監督について

④法人後見支援員の状況

選出区分	支援員登録者	支援員委嘱者
平成 30 年度市民後見人養成研修修了者 23 名	11 名	10名
令和元年度市民後見養成研修修了者 5 名	2名	2名
令和2年度市民後見養成研修修了者7名	2名	2名

(3) 市民後見人育成事業

市民後見人を養成するため、平成30年度より三島市・伊豆市・伊豆の国市・函南町の3市1町の広域的取り組みにより市民後見人養成研修等を実施しています。今年度は、伊豆市が幹事市となり、下記の通り実施しました。

また、令和 2 年度養成研修修了者へ法人後見支援員としての登録意向を確認し、希望者に対して面接を行うなど適性を測ったうえで、2 名を法人後見支援員等として決定し、日常生活自立支援事業の生活支援員として経験を積んで頂くこととしました。

①令和2年度市民後見人養成研修の開催(会場:伊豆の国市韮山福祉・保健センター)

N	0.		開催日	主な内容	
基礎研	集合	1	令和2年10月14日(水)	市民後見概論	
研修	台	2	令和2年10月14日(水)	対人援助の基礎	
	在 3 宅 .			対象者理解	
宅 D V D		1 1	令和2年10月~令和2年12月	成年後見制度の基礎	
		5		民法その他の法律の基礎	
		6		関係制度・法律	
実終	実 7		令和2年12月3日(木)	市民後見活動の実際	
実 集 —		8	令和2年12月3日(木)	家庭裁判所の役割	
在宅		9	令和2年12月~令和3年1月	成年後見制度の実務	

集合	10	令和3年2月5日(金)	事例報告と検討
合	11	令和3年2月5日(金)	レポート作成
体験	12	令和2年12月~令和3年1月	体験実習

②令和2年度市民後見人養成研修受講者の状況

市・町	受講者	修了者	法人後見支援員登録
三島市	8名	7名	2名

③市民後見人フォローアップ研修の開催

新型コロナウイルス感染症予防の観点より、集合型研修の実施が困難であったため、『市民後見人活動』の資料を伊豆市社会福祉協議会、伊豆の国市社会福祉協議会、函南町社会福祉協議会と協働で作成し、平成30年度及び令和元年度市民後見人養成研修修了者へ送付することで、フォローアップ研修としました。

(4) 三島市成年後見支援センター(中核機関)の運営

権利擁護及び成年後見制度の利用促進を図る機関としてセンターの運営を行っています。中核機関の主たる機能のうち、成年後見制度利用促進機能『マッチング』に特に力を入れ体制づくりを行いました。

①三島市成年後見支援センター(中核機関)の運営

ア. 広報機能

実施項目	内容
研修実施	令和3年1月21日 中郷地区 介護支援専門員向け
	『成年後見制度の活用』
広報	YouTube チャンネル開設(成年後見ネットワーク勉強会)
視察の受け入れ	視察の依頼を受け、対応。
	・8/14 函南町、函南町社協、御殿場市、御殿場市社協、
	小山町、小山町社協 計 18 名
	・10/9 函南町、函南町社協 視察 計14名

イ. 相談機能

実施項目	内容		
一般相談窓口の設置	受付:毎週月~金曜日 8時30分~17時15分		
	※土日祝日、年末年始は除く 相談件数:973件		
専門相談窓口(弁護	受付:毎月第1水曜日 13:00~16:00 (要予約1回30		
士) の設置	分まで)※土日祝日、年末年始は除く 相談件数:10件		

専門相談窓口(司法受付:毎月第1水曜日 13:00~16:00 (要予約1回30書士)の設置分まで)※土日祝日、年末年始は除く 相談件数:7件

ウ. 成年後見制度利用促進機能

ツ・八十後元門及利用以 生物で 中央 100円 100円 100円 100円 100円 100円 100円 100				
実施項目	内容			
三島市成年後見支援	成年後見制度の申立の必要性、申立人、成年後見人等候補			
センターコーディネ	者、支援内容について検討を行う三島市成年後見支援セ			
ート委員会の開催	ンターコーディネート委員会を開催。合計 59 ケースを			
	検討。			
	開催回数:12回			
	(4/10, 5/8, 6/12, 7/10, 8/14, 9/11, 10/9, 11/13, 12/11,			
	1/8、2/12、3/12)			
地域包括支援センタ	令和 3 年 3 月 18 日(木)			
ーとの役割分担 打	地域包括支援センターとの役割分担について			
ち合わせ				
市民後見人 1 号誕生	三島市社会福祉協議会法人後見受任ケース			
	リレーにて選任			
地域ケア会議参加	令和2年7月10日(金)			
	認知症高齢者の金銭管理			
	令和2年8月14日(金)			
	母親の施設入所と子の医療保護入院			
	令和2年9月18日(金)			
	子が浪費癖のある金銭管理と介護サービス利用について			
	令和2年9月30日(水)			
	高齢者の母親と精神障害・知的障害のある息子の支援			
	令和3年3月31日(水)			
	高齢者の母親と精神・知的障害のある娘と息子の支援			

工. 後見人支援機能

実施項目	内容		
成年後見ネットワー	演題:『映像で学ぶ 意思決定支援を踏まえた後見事務ガイ		
ク勉強会	ドライン研修』~本人の心からの希望と価値観を踏まえた意		
	思決定支援~		
	①支援付き意思決定と代行決定 1時間 YouTube		
	②意思決定支援と法制度 1時間 YouTube		
	③ガイドラインにおけるプロセス 3時間 Zoom		
	講師:法テラス埼玉法律事務所 弁護士 水島俊彦 氏		

	定員:100名程度			
	視聴:①と②については YouTube での配信。			
	配信期間令和3年2月1日(月)~2月28日(日)			
	③については Zoom での配信。			
	令和3年4月20日(火)180分			
チーム支援	・成年後見人、保佐人が就任後の支援及びケース会議の開催			
	・任意後見契約を行った方の、身上監護及び対応			
	・成年後見人支援			
	・親族後見人支援			
	·任意後見支援			

②三島市成年後見支援センターコーディネート委員会構成員

選出区分	氏名	所属	備考
弁護士	揚野江利子 静岡県弁護士会		委員長
司法書士	鈴木 信宏	成年後見センターリーガルサポート静岡支部	副委員長
社会福祉士	番場 俊文	静岡県社会福祉士会ぱあとなあ静岡	
行政市長申立担当者	堀井 大樹	三島市障がい福祉課	
行政市長申立担当者	藤井平四郎	三島市福祉総務課	

③三島市成年後見制度利用促進連携協議会

ア. 構成員

選出団体等	氏名	備考
静岡県弁護士会沼津支部	関 亮子	会長
成年後見センター・リーガルサポート静岡支部	露木 博幸	
静岡県精神保健福祉士協会 会長	澤野 文彦	
コスモス成年後見サポートセンター静岡支部 幹事	川合 礼恵	
静岡県社会保険労務士会三島支部 顧問	岡田 順二	
三島市医師会/	田内美津子	
三島市社会福祉協議会成年後見運営委員会 副委員長	田門天伴丁	
三島信用金庫元気創造部 商品開発課 主査	岡本恵	
静岡銀行三島支店 支店長	望月 隆生	
静岡中央銀行三島支店 支店長	山口 誠	
三島中央町郵便局 局長	鈴木 孝則	
三島市自治会連合会 副会長	内田 新一	
三島市民生委員・児童委員協議会 理事(副会長)	野田 弘	
三島市介護支援専門員連絡協議会 会長	鈴木 康明	

三島市障がいと暮らしを支える協議会	高木	文明	
地域包括支援センター三島	山中	直大	
三島市 福祉総務課長	沼上	勝一	
三島市社会福祉協議会 会長	中村	正蔵	副会長

イ. 開催状況

開催日	主な内容
令和3年2月16日(火)	三島市成年後見支援センターの事業報告
13:30~15:00	マッチングについて
	各機関との意見交換

8 セーフティーネット事業

(1) 生活福祉資金貸付

低所得世帯、障がい者世帯又は高齢者世帯に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行い、経済的自立及び生活意欲の助長促進、並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるように支援しました。

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた方々に対する貸付事業として、主に休業等により収入に減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のため貸付を必要とする世帯に緊急小口資金特例貸付、また、主に失業等により生活が困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯に総合支援資金特例貸付を実施しました。

※貸付の可否や債券管理等は実施主体である静岡県社会福祉協議会となります。

①相談活動状況

項目	件数
貸付相談	2,391件
償還相談	19 件
訪問状況	0 件
民生委員との連絡調整	11 件
連携(連絡調整)した機関(生活支援センター、福祉事務所ほか)	328 件
合計	2,749件

②新規貸付件数

項目	申請件数	うち決定件数	貸付決定額
福祉資金	1件	1件	128,000 円
教育支援資金	0 件	0件	0円

不動産担保型生活資金	1 件	1 件	28, 560, 000 円
緊急小口資金	3件	2件	170,000円
総合支援資金	0件	0件	0 円
臨時特例つなぎ資金	0件	0件	0円
緊急小口資金特例貸付	464 件	442 件	77, 900, 000 円
総合支援資金特例貸付	187 件	122 件	45, 190, 000 円
総合支援資金特例貸付延長	53 件	27 件	9, 750, 000 円
総合支援資金特例貸付	8件	3 件	1, 260, 000 円
「再貸付」			
合計	717 件	598 件	162, 958, 000 円

(2) 生活一時扶助金・食糧支援

解雇や病気等の理由により、初回満額給料日や年金支給日等までに生計の維持が困難な方への支援として、年1回10,000円を限度とする生活一時扶助金の交付、フードバンクふじのくにより取り寄せた食糧や住民から戴いた食糧の提供を実施しました。

生活一時扶助金	食糧支援
10 件(交付総額 100, 000 円)	279 件



(3) 歳末見舞金の贈呈

新たな年を迎える時期に、支援を必要とする世帯が地域で安心して暮らすことができるよう、市民から寄せられた歳末たすけあい募金を活用し見舞金の贈呈を通して支援しました。なお、令和2年度より「社協だより」にて申請書を全戸配布し、新たに対象区分を設け申請を募りました。

	世帯数				世帯数	贈呈総額		
1人	2 人	3 人	4 人	5 人	6人	7人	計	照主 秘領
76 件	37 件	13 件	9件	1 件	1 件	1 件	138 件	1,629,000円

見舞金は1人世帯8,000円、世帯内に1人増えるごとに5,000円増 対象は、世帯全員の住民税が非課税で民生委員・児童委員の援助指導を必要としてい る次の世帯(生活保護世帯は除く)

- ・満65歳以上で介護保険の要介護1~5の認定者のいる世帯(要支援1、2は除く)
- ・ひとり親家庭で、児童扶養手当の受給世帯

・次の手帳を所有している障がい児・者のいる世帯 (身体障害者手帳1・2級、療育手帳A・B、精神障害者保険福祉手帳1・2級)

・満65歳以上の一人暮らしの高齢者世帯

9 指定事業所の運営

(1) 介護保険事業所及び障がい福祉サービス事業所の運営

利用者本位を基本とし、サービスの質の向上に努めながら住み慣れた地域で自分らしく生活できるように、介護保険法に基づく「居宅介護支援」・「訪問介護」のサービス、また、介護予防・日常生活支援総合事業の「訪問型(独自/定率)」・「訪問型サービスA」のサービス、障がい者総合支援法に基づく「居宅介護」・「重度訪問介護」のサービスを提供しました。

① 従事者数内訳(令和3年3月31日現在)

職種	常勤	非常勤	登録	計
介護支援専門員	1名	2名	0名	3名
ホームヘルパー	3名	6名	0名	9名
合計	4名	8名	0名	12 名

②介護保険事業等収入内訳

サービス名	件数	保険給付費	利用者負担額	計
訪問介護	344 件	18, 370, 741 円	1,790,238円	20, 160, 979 円
訪問介護公費分	31 件	365, 476 円	0 円	365, 476 円
訪問型(独自)	235 件	3, 906, 835 円	526, 760 円	4, 433, 595 円
訪問型(独自)公費分	27 件	56,804 円	0 円	56,804 円
居宅介護支援	780 件	11,545,943 円	0 円	11,545,943 円
予防計画作成	483 件	2,045,368円	0 円	2,045,368円
合計	1,900件	36, 291, 167 円	2, 316, 998 円	38, 608, 165 円

③障がい福祉サービス事業収入内訳

サービス名	件数	保険給付費	利用者負担額	計
居宅介護	277 件	7,647,255 円	184, 048 円	7,831,303 円
重度訪問介護	12 件	1,092,268円	0 円	1,092,268円
合計	289 件	8, 739, 523 円	184, 048 円	8,923,571 円

(2) 障がい者通所施設の運営

利用者に様々な生きがいを提供できるように努めるとともに、可能性を広げる支援の充実を目指し、生活介護事業所2か所及び就労継続支援B型事業1か所を運営しました。

①運営施設の概要

ア. 指定生活介護事業所えがお(所在地:新谷190-2 定員:40名)

作業内容	自主作業	クッキー・パウンドケーキ作り、ジャム作り、アルミ缶・ 古紙リサイクル回収、縫製品、紙すき、ビーズ製品ほか
生活指導内容	日常生活 支援	基本生活習慣(食事・排泄・歯磨き・着脱等)の支援、自立に向けた掃除・洗濯・買い物等の支援、創作活動、調理 実習、健康支援、身体機能の維持・向上のための支援ほか
内容	その他	クリスマス会、防災訓練、音楽療法、運動療法、地域清掃 ほか

イ. 指定就労継続支援 B 型事業所さわじ作業所(所在地:沢地 246-11 定員:20名)

作業内容	自主作業	木工製品、防災製品(黄色いハンカチ)、アルミ缶・古紙 リサイクル回収、レーザー加工製品、缶バッジ、共同店舗 運営、UV プリント加工
谷 	下請作業	清掃作業(体育館・保健センター)、しおり作り、バンド 巻、ネイル用品封入、近隣観光施設用製品作り
生活指導内	就労訓練	基本生活習慣(食事・排泄・歯磨き・着脱等)の支援、作業に必要な技能・接遇などの訓練、買い物訓練、余暇支援、健康支援ほか
内容	その他	機能訓練、ボランティア交流会、防災訓練、社会見学、地域交流祭り、調理実習、地域の小学校・幼稚園との交流

ウ. 指定生活介護事業所おんすいち(所在地:富田町 3-19 定員:20名)

作業内容	自主作業	ビーズ製品(きらきらバンド・ブレスレット・携帯ストラップ)、野菜作り、縫製品、ステンシル製品、アルミ缶・古紙リサイクル回収、クッキー・ジャム作り
------	------	--

生活指導内	日常生活 支援	基本生活習慣(食事・排泄・歯磨き・着脱等)の支援、調理実習、創作活動、健康支援、身体能力維持・向上(スポーツ・プール・歩行訓練等)ほか
内容	その他	防災訓練、工場見学、避難所体験、買物訓練、希望外出、 手話、音楽療法、詩吟、地域交流ほか

②年代別利用者数(令和3年3月31日現在)

区分	えか	ぶお	さわじ	作業所	おんす	けいち	合計
丛 万	男	女	男	女	男	女	口間
20 歳未満	0名	0名	0名	0名	0名	1名	1名
20~29 歳	10名	8名	5名	0名	2名	2名	27 名
30~39 歳	5名	3名	1名	4名	8名	6名	27 名
40~49 歳	5名	5名	3名	4名	2名	0名	19名
50~59 歳	2名	2名	3名	2名	1名	0名	10名
60 歳以上	1名	0名	1名	0名	0名	0名	2名
合計	23 名	18名	13名	10名	13名	9名	86 名
口目	41	名	23	名	22	名	00 泊

③障がい別利用者数(令和3年3月31日現在)

区分	えか	はな	さわじ	作業所	おんす	けいち	合計
公 刀	男	女	男	女	男	女	·□·□I
知的障がい	8名	11名	11名	10名	11名	7名	58 名
身体障がい	1名	0名	1名	0名	0名	0名	2名
重複障がい	14 名	7名	1名	0名	2名	2名	26 名
合計	23 名	18名	13名	10名	13名	9名	86名

④開所日数及び利用者数

Ī		えた	おお	さわじ作業所		おんすいち	
	区分	開所日数	利用者数	開所日数	利用者数	開所日数	利用者数
	4月	21 目	41 名	21 日	23 名	21 日	22 名
	5月	18 日	41 名	18 日	23 名	18 日	22 名
	6月	22 日	41 名	22 日	23 名	22 日	22 名
	7月	21 日	41 名	21 日	23 名	21 日	22 名

8月	19 日	41 名	19 日	23名	19 日	22 名
9月	20 日	41 名	20 日	23 名	20 日	22 名
10 月	22 日	41 名	22 日	23 名	22 日	22 名
11月	19 日	41 名	19 日	23 名	19 日	22 名
12 月	19 日	41 名	19 日	23 名	19 日	22 名
1月	19 日	41 名	19 日	23 名	19 日	22 名
2月	18 日	41 名	18 日	23 名	18 日	22 名
3 月	21 日	41 名	21 日	23 名	21 日	22 名
合計	239 日	492名	239 日	276 名	239 日	264 名

⑤利用者工賃概要

区分	当生	F度	前年度		
△ 刀	総額	1人当たり/月	総額	1人当たり/月	
えがお	1, 124, 144 円	2, 284 円	1, 996, 795 円	3,869円	
さわじ作業所	3, 365, 337 円	12, 193 円	3,815,181 円	13, 247 円	
おんすいち	454, 790 円	1,722円	798, 377 円	3, 168 円	

⑥障がい福祉サービス事業収入内訳

施設名	サービス名	件数	保険給付費
えがお	生活介護(通所)	492 件	87, 078, 322 円
さわじ作業所	就労継続支援B型(通所)	276 件	37, 854, 779 円
おんすいち	生活介護(通所)	264 件	40, 950, 839 円
	合計	1,032件	165, 883, 940 円

10 受託施設の運営

(1) 社会福祉会館の運営(指定管理)

三島市社会福祉会館は、社会福祉事業の振興と市民一人ひとりが福祉活動への関心を深めその育成発展を図るために昭和 49 年 7 月に建設されました。この管理運営を三島市から指定管理者として受託し、福祉活動の場を提供し市民の活動拠点として有効に活用して頂けるよう努めています。

新型コロナウイルス感染予防のため、5月は貸室の利用を中止とし、再開後も貸室の換気や手指消毒の徹底をお願いするとともに貸室の定員を縮小するなど、感染防止に努めました。

① 開館日数及び年間利用の状況

·開館日数 343 日 1 日平均 32.6 人

利用種別	利用回数	利用人数
民生委員関係	74 回	616 人
身体障がい者関係	290 旦	2,971 人
老人福祉関係	67 回	1,319人
児童福祉関係	2 回	26 人
更生保護関係	79 回	730 人
社会福祉協議会関係	261 回	2,463 人
その他	201 回	3,080 人
合計	974 回	11,205 人

(2) 老人福祉センターの運営(指定管理)

三島市老人福祉センター(愛称:いきいきシニア・ふれあいセンター)は、市内のお年寄りの皆さんに対して、各種の相談に応じ、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションの場を提供するため、昭和59年4月に設置されました。

平成 18 年度以降、三島市から指定管理者として受託し、施設の適切な管理と運営に努めています。

シニアクラブとの連携・協力をはじめ、各種講座・教室等を開催するなど、利用 者が健康で明るく生きがいのある生活を送って頂けるよう、利用の促進を図ってい ます。

新型コロナウイルス感染予防のため、4・5月を休館とし、再開後も舞台利用に一定の利用ルールを設けるなど、感染予防重視の施設運営に努めました。

① 開館日数及び年間利用の状況

· 開館日数 244 日 1 日平均 134 人

団体利用者	個人利用者	合計
1,093 人	31,706 人	32,799 人

② 講座·活動等

種類	内 容	実施回数	受講・参加者数
	健康教育(骨折・熱中症)	4 回	128 人
健康・教養講座	薬とくらし(県)	2 回	75 人
	マジック教室	2 回	71 人
	心の健康	2 回	98 人
	ゴミの出し方	2 回	82 人

生活安全講座	防犯講習	2 回	74 人
	交通安全	2 回	85 人
	社交ダンス	3 回	16 人
	習字同好会	16 回	180 人
	グランドゴルフ	103 回	517 人
脳いきいきクラブ	レコード鑑賞	9 回	78 人
	脳トレ・サークル	24 回	132 人
	囲碁	68 回	136 人
	将棋	107 回	234 人
相談事業	健康サロン	25 回	291 人
	健康相談	随時	800 人
合	計	371 回	2,997 人

11 その他の事業

(1) 三島市共同募金委員会としての共同募金業務

平成 15 年に社会福祉法人静岡県共同募金会と三島市社会福祉協議会の間に取り交わされた事務申し立てに従い、三島市共同募金委員会の事務を担い、各種募金活動や運営委員会の開催などを実施しました。

【令和2年度実績額】

赤い羽根共同募金	歳末たすけあい募金
6, 475, 336 円	2, 486, 626 円



(2) 助成事業

下記団体が実施する事業を助成しました。

団体名称	事業名	助成額
三島市小中学校連 合修学旅行団体	準要保護世帯児童への修学旅行費用の助成 (小学校6年生 61件 5,000円/件)	305, 000 円
三島市中学校修学 旅行団体	準要保護世帯生徒への修学旅行費用の助成 (中学校3年生 66件 7,000円/件)	462, 000 円
三島市民生委員児 童委員協議会	福祉活動に関する事業	412,000円
	広報紙「ぬくもり」の発行	100,000円

三島市遺族会	戦没者等の慰霊・参拝事業	80,000円
合計 4 団体		1,359,000円

(3) 福祉車両・車椅子・介護補聴器の貸出事業

在宅の外出困難な高齢者及び障がい 者等の生活圏拡大と社会参加を支援し、 日常生活の向上を図ることを目的に実 施しました。

福祉車両貸出	車椅子貸出	
36 件	78 件	



(4) 生きがい教室の運営

介護予防事業の一環として、市の委託を受けて市立西小学校、東小学校、南小学校の余裕教室3箇所に「生きがい教室」を開設。家庭にとじこもりがちな高齢者に交流の場を提供し、社会的孤立感の解消、自立生活の助長及び要介護状態になることを予防するため、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底する中で1日の利用人員を午前・午後各10名と制限しサービスを提供しました。

①利用状況

	西小 生きがい教室	東小 生きがい教室	南小 生きがい教室	合計
開所日数	201 日	203 日	202 日	606 日
延べ利用者数	2,910 人	2,794人	3,002 人	8,706 人
平均利用者数	14.5 人/日	13.8 人/日	14.9 人/日	14.4 人/日

②介護予防普及啓発事業の中止

新型コロナウイルス感染防止対策として、介護予防普及啓発事業は1年間中止に しました。

(5) 高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業

市営加茂住宅A棟で実施している「高齢者世話付住宅(令和3年3月1日現在17帯20名居住)」に対して3名の生活援助員を配置し、2交代制のシフト勤務で居住者に対する生活指導及び相談を充実するとともに、安否確認、一時的な家事援助などの生活支援を実施しました。

(6) 実習生の受け入れ

看護職等を目指す実習生を積極的に受け入れ、次代の福祉を担う人材育成に協力しました。

実習生	受入期間	
順天堂大学保健看護学部 22名	令和3年1月12日~1月21日(4日間)	